

転換期の 大学言語教育

— AI翻訳とポスト・コロナへの対応 —

2021年 12月4日(土)・5日(日)

オンライン (Zoomウェビナー)

参加費：無料 (要申し込み)

主催：京都大学国際高等教育院

英語部会、初修外国語部会、日本語・日本文化部会

共催：多言語社会研究会



近年、AI技術を用いたサービスや製品が社会のさまざまな領域で提供されるようになってきている。Google翻訳やDeepLといった機械翻訳サービスもそうしたものの一つであり、プロの通訳者・翻訳者から初学者まで、異言語を学び使う者であればなんらかの形で利用したことがあると言っても過言ではない。にもかかわらず、言語教育における機械翻訳の適切な利用法について定まった知見はなく、検討が必要な状況と言える。

一方、コロナ禍に起因するオンライン授業の一般化は、対面かつ双方向によるやりとりがとりわけ重視されていた言語教育の方法に再考を迫っている。具体的な実践を通じて、対面授業とオンライン授業それぞれの利点と欠点が広く認識されたことにより、言語教育にとって最適な授業方法をあらためて考える機会が訪れている。

本シンポジウムでは、2つの事象がわれわれの眼前に同時にあるという事実をもって、現在を大学言語教育の転換期として捉え、基本的な考え方や知見を整理し、具体的な事例を参照しながら、今後の展開の方向性を議論する。

1日目：12月4日(土)

「AI時代の
大学言語教育」

2日目：12月5日(日)

「コロナ禍の後の
大学言語教育」



1日目：12月4日(土)

「AI時代の 大学言語教育」

大学における言語教育、特に教養課程で実施されている言語教育は、「スキル」と「教養」という分かれがたい2つの側面から構成されている。1日目は、「スキル」を中心に、言語教育における機械翻訳の活用について議論する。まずは、大きな枠組として、言語が異なる者同士のコミュニケーションのあり方について考え、その方法の1つとしての機械翻訳の技術的側面を概観した上で、利活用の事例を参照しつつ、大学言語教育における機械翻訳の位置づけ等について議論する。

2日目：12月5日(日)

「コロナ禍の後の 大学言語教育」

MOOCをはじめとして、教育のオンライン化の試みは2000年代から漸進的展開がみられていたが、コロナ禍を契機として、大学教育のほぼあらゆる水準で一斉に実施されるという事態が生じた。短い準備期間でのオンライン化は一部に混乱を引き起こしたが、その功罪を見極める機会を教育関係者にもたらしたとも言える。2日目は、コロナ禍により一般化したオンライン教育が今後の大学言語教育に対して与える影響を、世界各地の状況を基に議論する。事前に各地からのビデオ報告(各10~15分)をシンポウェブサイトで公開し、当日の議論の参考とする。

シンポウェブサイト：

<https://bit.ly/125sympo>

-
- 13:00-13:05 **開会挨拶** 宮川恒(京都大学 国際高等教育院長)
- 13:05-13:10 **趣旨説明** 塚原信行(京都大学)
- 13:10-14:00 **【講演 1】「異言語間コミュニケーションの一方略としての機械翻訳」**
木村護郎クリストフ(上智大学)
- 14:00-14:50 **【講演 2】「機械翻訳技術の現在と未来」**
黒橋禎夫(京都大学)
- (14:50-15:10 休憩)
- 【パネルディスカッション】**
- 15:10-15:30 **パネル報告 1:「機械翻訳によって、異文化の問題は前景化するのかそれとも後景化するのか:一般学術目的の英語ライティング授業からの考察」**
柳瀬陽介(京都大学)
- 15:30-15:50 **パネル報告 2:「京都大学工学部の講義における自動字幕システム運用の実際」**
本多充(京都大学)
- 15:50-16:10 **パネル報告 3:「外国語としての日本語教育と機械翻訳」**
藤原団(トゥールーズ=ジャン・ジョレス大学)
- (16:10-16:30 休憩)
- 16:30-18:00 **ディスカッション**
パネリスト:木村護郎クリストフ・黒橋禎夫・柳瀬陽介・本多充・藤原団/司会:塚原信行
- (18:00 1日目終了)

-
- 09:00-09:05 **趣旨説明** 塚原信行
- 09:05-09:45 **【講演】「パンデミックがもたらした言語教育イデオロギーの転換:セミオティック・アセンブリッジの視点から」**
尾辻恵美(シドニー工科大学)
- 【パネルディスカッション】**
- 09:45-10:10 **ビデオ報告に基づく論点整理:佐野直子(愛知県立大学)**
- 10:10-10:30 **パネル報告 1:「パンデミックの中の留学生日本語教育:一年半の体験を振り返り、今後を考える」**
河合淳子(京都大学)・湯川志貴子(京都大学)
- 10:30-10:50 **パネル報告 2:「教室を飛び出し世界でつながる外国語授業:プロジェクト型学習で学生は何を学ぶのか?」**
Zeilhofer Luisa(京都大学)
- (10:50-11:10 休憩)
- 11:10-12:40 **ディスカッション**
パネリスト:佐野直子・尾辻恵美・河合淳子・湯川志貴子・Zeilhofer Luisa/司会:山下仁(大阪大学)
- (12:40 閉会)